

「岩手県自然環境保全指針」の見直しについて

1 指針見直しの必要性

「岩手県自然環境保全指針」（概要は別紙のとおり）は、環境影響評価の確認や生物多様性の現状や動向を把握するための基礎的資料であるが、策定から時間が経過し状況が変化してきていることから、見直しが必要となっているものである。

（見直し期間は、平成 30 年度から 32 年度の 3 ヶ年を予定している。）

2 岩手県自然環境保全指針見直し検討委員会

自然環境に関する学識経験者 6 名の委員により構成する。

氏名	所属・職名	専門分野
青井 俊樹	岩手大学名誉教授	動物（哺乳類）
伊藤 英之	岩手県立大学総合政策学部教授	地形・地質
吉田 勝一	岩手大学名誉教授	昆虫
渋谷 晃太郎	岩手県立大学総合政策学部教授	環境政策・環境教育
鈴木 まほろ	岩手県立博物館専門学芸員	植物
由井 正敏	東北鳥類研究所長	動物（鳥類・生態系）

3 会議の開催

平成 29 年度において、3 回開催し、検討の結果を平成 30 年度の予算要求に反映させる。

【第 1 回】6 月下旬～7 月上旬

- ・現状の把握
- ・問題点の整理

【第 2 回】7 月下旬

- ・指針見直し方向性の整理①
（事務局案を示して意見をいただく。）

【第 3 回】9 月中旬

- ・指針見直し方向性の整理②
（いただいた意見を反映したものを確認）